

# 芽室町の現在の支援体制

芽室町は現在、次のように災害や被害者に対して支援体制を整えています。災害直後から国や道では、各市町村での支援体制についての調査が実施され、芽室町では支援要請があった場合には、すみやかに対応できるよう準備を整えています。

## 【受入支援】

項目	支援内容	担当課等
被災者向け住宅	公営住宅 すぐに入居可能なもの5戸、その他修繕が必要のため状況に応じて対応するもの 21戸	住民生活課 ☎62-9723
被災者受入れ施設	①教員住宅 8戸 ②集団研修施設かっこう(美生) 80人 ③洪山保育所(休所保育所) 20人	学校教育課 ☎62-9729 社会教育課 ☎62-9730 子育て支援課 ☎62-9733
児童、生徒の受入れ転入学	①山村留学施設やまなみ(上美生) 4人(小学4年生以上中学生まで) ②親子住宅1戸、(小学生あるいは中学生1人と親)	学校教育課 ☎62-9729
仮設住宅建設可能地	南プール跡地(約3,300㎡)を候補地として	企画財政課 ☎62-9721
幼児の受け入れ	農村部保育所 5保育所 30人	子育て支援課 ☎62-9733

## 【派遣支援】

項目	支援内容	担当課等
医師等の派遣、患者の受入れ	①医師1名派遣(3/25~4/10) ②透析患者5人の受入れ可能	公立芽室病院 ☎62-2811
消防士派遣	①救急救命士1人派遣(3/19~3/26) ②救急救命士1人派遣(4月末予定)	芽室消防署 ☎62-2821
被災宅地危険判定士派遣	有資格者1人、補助員2人派遣可能→1人派遣予定	建設都市整備課 ☎62-9726

## 【物資等の支援】

項目	支援内容	担当課等
義援金受付	3/15~日本赤十字芽室分區、共同募金会受付	総務課 ☎62-9720 保健福祉課 ☎62-9724
応急給水支援	給水袋80枚可能	水道課 ☎62-9727
支援物資	①毛布500枚、アルファ化米 1,000食(3/22搬送) ②木質ペレット燃料1.39t(3/28搬送)	総務課 ☎62-9720
町民支援物資	①タオル、バスタオル、毛布(3/23~3/27実施) ②食料品、生活用品、学用品(3/29~4/15実施)	総務課 ☎62-9720

## 【被災者への生活支援】

項目	支援内容	担当課等
生活福祉資金無利子貸付	①被災され、芽室町へ移住し、当座の生活費を必要とする世帯10万円以内 ②世帯員に要介護者がいる場合、世帯員4人以上の場合など20万円以内	保健福祉課 ☎62-9724 社会福祉協議会 ☎62-1616

## 【芽室町への支援の申し入れ】

項目	支援内容	担当課等
住宅の掃除	柏の里めむろ…被災者用公営住宅の掃除等	総務課 ☎62-9720
支援物資の受け入れボランティア	芽室町婦人ボランティア連盟、芽室町赤十字奉仕団、手話サークル「虹」、JAコスモスの会、ふれあい交流会ボランティア「さつき会」「かしわ会」、あいあいボランティアサークル、芽室明るい社会づくり運動協議会、サンフラワー会	総務課 ☎62-9720

# 避難時の心得

### 安全な避難路の確認を

避難場所までの経路(避難路)は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

### 非常持ち出し品の事前準備を

避難する時の荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。また、非常食の準備もしておきましょう。P64参照

### 正確な情報収集と自主的避難を

ラジオ・テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。危険を感じたら自主的に避難しましょう。

### 避難の呼びかけに注意を

危険が迫った時には、役場や消防から非難の呼びかけをします。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。

### 避難する前に

避難する前に、電気・ガスなどの火元を消し、避難場所を確認しましょう。また親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。

### 速やかに避難しましょう

避難勧告は、危険が迫った時に出示されますので、速やかに避難しましょう。避難の際には警察などの指示に従いましょう。

### お年寄りなどの避難に協力を

お年寄りや子ども、病気の人などは、早めの避難が必要です。近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。

### 動きやすい格好、2人以上での避難

避難する時は、動きやすい格好で。2人以上での避難を心がけましょう。

### 車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになります。また交通渋滞を招きます。特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。

今回の大震災で、私たちは様々なことを目にし、耳にしています。いざという時のために、学び取らなければならないことがたくさんあるはず。まずは自分がしなければならないことを考え、家族で話し合うことが大切です。

国や北海道では今回の大震災を踏まえ、防災に対する計画が見直しされる予定です。芽室町としても、現在ある町の防災計画の見直しを図り、町民の皆さんが安心して暮らせるための最善策を考えていかなければなりません。

皆さんから防災に関するご意見等がございましたら、お寄せください。また、防災に関することで不明な点がありましたら総務課地域安全係(☎62-9720)までお問い合わせください。

# 派遣支援

西十勝消防組合芽室消防署  
管理係兼消防課救急救助係  
とさだしゅんすけ  
與佐田俊介救急救命士



3月19日から26日まで、災害地支援のため、救急救命士として岩手県石巻市に派遣されました。

「現場は、とにかく、衣・食・住・情報、何ひとつ足りていないひどい状況でした。私たち北海道・新潟県から集結した消防隊員は、石巻の高台にある運動広場を救援基地と

して、被災者の捜索活動、避難所にいる被災者の救急搬送活動を行いました。

避難所生活を送る被災者の方の心身の疲労は日に日に高まり、腹痛や発熱で搬送されるケースが多かったです。

私たちは自分たちの食糧、飲み物を持参して行きました。被災者の方々には食べ物や飲み物が、まだまだ満足に行きわたっておらず、私たちの車両を見つくと、物資の支援を求めてきました。でも、何もすることができませんでした。

また、救急搬送するために石巻市消防の署員に同乗してもらい道案内をお願いするのですが、彼らも



また被災者で、自宅を失くしてしまったり、家族や親せきが亡くされたり、行方不明であるにもかかわらず、捜索する時間さえなく、職務を遂行していました。同じ仕事をしている仲間としては、とてもつらかったです。

私たちの派遣部隊の捜索隊は、幸い2名のご遺体を発見することができ、ご遺族のもとへお返しすることができました。私としても、できる限りのことはやってきました。

今思うのは、普通に暮らすことが、いかに大切かということです。



何も悪いことをしていない人たちが、このような悲惨な現実の中にいます。被災者には、その不満をぶつけるはげ口すらありません。」

公立芽室病院  
外科医長  
しらやましんじ  
白山真司医師



3月25日から4月10日まで、災害地支援のため派遣されました。

「私が不在になることにより、病院に残る皆さん、また町民の方にご負担をかけることを申し訳なく思います。自分一人の力は微力ですが、現地に入っている仲間たちと力を合わせて、被災された方のために全力を尽くしたいです。行って助けたいという気持ちは皆さん一緒だと思います。行きたくても行けない人の分も頑張ってきます。」